

# 大阪湾漁場環境速報

平成24年3月8日発行  
兵庫のり研究所

大阪湾全域でスケルトネマやタラシオシラ等の珪藻が増殖しており、特に湾奥部～大阪府沿岸域で発生量が多く、一部で赤潮を形成しています。2月下旬以降、周期的にまとまった降雨があったため、神戸空港東部～大阪南港沖にかけて河川水等の流入（濁水）により栄養塩は高い値を示していましたが、各ノリ漁場付近の窒素は1～2μg-at/Lに低下しています。今後、気温の上昇や晴天が続いた場合、珪藻（スケルトネマおよびタラシオシラ）の増殖がさらに活発になる可能性も考えられますので、その発生状況や栄養塩動向に十分注意して下さい。

**(水温)** 表層は湾内9～10℃台で、平均9.6℃。ほぼ平年(9.5)並で昨年(8.7)比0.9℃高い。-10m層は平均9.6℃。

**(塩分)** 表層平均31.07psu(平年 31.66)。-10m層平均31.78psu(平年 32.30)。

**(栄養塩、他)** 表層の窒素(O13D～O18を除く)は平均2.0μg-at/L、リンは平均0.22μg-at/L。-10m層(平均)は、窒素2.7μg-at/L、リン0.28μg-at/L。河川からの出水により濁水が流入していた海域で、窒素は高い値を示している。湾奥部～大阪府沿岸域の表層を中心にスケルトネマやタラシオシラなどの珪藻が大量発生している。そのため、関西空港付近で栄養塩は著しく減少していた。ユーカンピアは全域でほとんど認められなくなった。また、夜光虫(ノクチルカ)が淡路島沿岸～神戸沖で発生量が多く、東浦沖(O7)で赤潮が確認された。透明度は湾奥部～大阪府沿岸で1.5～3.0m、その他は4.0～6.0mで平均4.4m。pHは表層平均8.34。

上段 (今回値)	平成24年3月7日調査
中段 (昨年値)	平成23年3月3日調査
下段 (平年値)	3月上旬

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	リン (μg-at/L)
04	10.3	32.12	1.9	0.24
	10.0	32.89	2.7	0.33
	10.5	32.74	3.9	0.34
05	9.4	31.70	2.5	0.28
	8.6	32.43	1.4	0.27
	9.3	32.01	3.8	0.23
06	9.4	31.47	1.8	0.22
	8.3	32.48	0.8	0.26
	9.2	31.73	4.9	0.24
07	9.5	31.32	2.7	0.27
	8.6	32.43	1.4	0.27
	9.5	32.20	2.5	0.22
08	9.4	31.39	1.1	0.20
	9.0	32.40	0.8	0.21
	9.8	32.36	2.7	0.25
09	9.4	31.53	2.5	0.26
	8.8	32.34	1.0	0.21
	9.7	32.33	2.6	0.24
010	9.4	31.05	0.2	0.08
	8.4	31.70	0.3	0.09
	9.2	31.95	2.2	0.14
012	9.5	29.54	5.8	0.17
	8.4	31.07	1.0	0.11
	9.2	31.13	7.2	0.21
013D	9.3	29.89	3.2	0.14
	8.2	29.51	6.9	0.16
	9.1	30.85	9.5	0.19
016	9.3	28.02	34.7	0.75
	8.3	31.76	2.5	0.22
	9.0	29.90	10.5	0.17
017D	9.7	24.62	46.0	1.45
	8.2	28.78	11.3	0.28
	9.1	29.88	21.4	0.25
018	10.0	15.96	49.2	1.48
	9.1	28.60	27.5	1.14
	9.2	26.90	30.4	0.58
S1	9.5	31.57	2.1	0.25
	8.4	32.40	1.6	0.28
	9.0	30.71	6.6	0.17
S2	9.2	31.28	1.5	0.18
	8.1	32.06	0.8	0.15
	8.9	30.55	7.6	0.14
S3	9.6	31.09	1.0	0.15
	8.7	32.14	0.9	0.20
	9.4	31.49	4.6	0.16
S4	10.2	31.87	0.6	0.16
	9.7	32.80	2.2	0.31
	10.3	32.51	3.7	0.32



